

Infosys Finacle、IBM との協業で銀行の クラウド変革ジャーニーの高速化を支援

業界をリードする Finacle デジタルバンキング・ソリューションスイート

Red Hat OpenShift と IBM Cloud for Financial Services で利用可能に

バンガロール (インド) - 2021 年 11 月 2 日: [インフォシス](#) (NSE、BSE、NYSE: INFY) の完全子会社である [EdgeVerve Systems](#) の一部門 [Infosys Finacle](#) と IBM は、本日、Finacle デジタルバンキング・ソリューションスイートが Red Hat OpenShift および IBM Cloud for Financial Services で利用可能になることを発表しました。この協業により、銀行は業務変革をスケールアップし、俊敏性を高め、商品およびサービスのオンデマンドのポートフォリオで成長を促進できるようになります。また、銀行はシームレスなエコシステムのつながりを創り上げ、世界クラスの銀行体験を顧客に提供でき、さらに顧客のコンプライアンスとセキュリティ要件への適合を実現できるようになります。

IBM Cloud for Financial Services 上のフルマネージド Red Hat OpenShift に Finacle ソリューションスイートを展開することで提供されるメリットには、次のようなものがあります。

- インフラストラクチャ即応性スケジュール全体の大幅な削減で、顧客オンボーディングと本稼働に向けた期間を短期化
- アプリケーション展開プラットフォームの容易性と整合性が向上し、顧客オンボーディングのスピードアップに加え、より優れた可視性、制御、データ分離を提供
- 銀行は Finacle アプリケーションをクラウドへの展開することで、柔軟性の高いインフラストラクチャを活用してオンデマンドでスケーリングを行い、プロビジョニング効率を大幅に改善可能
- 統合コンテナとクラウド管理機能により、特別なスキルの必要性に対するオペレーションチームの依存度が減少
- 本格的なエンド・ツー・エンドの自動化により、開発者の余力を産み出し、イノベーションとオンデマンドなアプリケーションリリース実行の俊敏性を確保

- さらに、クラウド環境向けセキュリティ機能の強化で運用の負荷を減らし、パートナーやその顧客によるアプリケーション構築、イノベーション促進、価値提供を実現可能に

Infosys Finacle の シニア・バイスプレジデント兼セールスおよびアライアンス担当グローバル責任者の Venkatramana Gosavi は次のように述べています。「クラウドはいまや、技術的な変革を遂げる方法から、業務変革を実現する手段へと進化し、イノベーションと成長に向けたアジャイル、レジリエント、スケーラブルなプラットフォームを提供しています。そのメリットを勘案すれば、デジタル変革の競争を主導し、大幅な業績の向上を達成したいと考える金融機関にはクラウド導入が欠かせません。Finacle の業界をリードするクラウドネイティブなソリューションスイートは、銀行がこうした価値の幅をさらに広げるよう設計されています。クラウドサービス、ソリューション、プラットフォームの堅牢なセットである Infosys Cobalt と併せ、また Red Hat および IBM との協業によって、当社は次世代の金融サービスのイノベーションに向けて、お客様がオープン・ハイブリッド・クラウドのメリットを実現できるようお手伝いしています。」

IBM Cloud and Cognitive Software の副社長である Gaurav Sharma 氏は次のように述べています。「IBM では、金融サービス業界のリスク低減を自らの使命と考えています。より多くのミッションクリティカルなワークロードがクラウドへ移行される中、IBM Cloud for Financial Services は、金融機関によるハイブリッドクラウド導入の高速化を支援し、セキュリティ、オープンイノベーション、コンプライアンスの必要性に対処しつつ、収益の増大を図ります。今回の協働により、Infosys Finacle は、100 社の独立ソフトウェアベンダー (ISV)、SaaS プロバイダー、グローバル・システムインテグレーター (GSI) とフィンテックで構成される成長中のエコシステムに参加して IBM Cloud for Financial Services を活用することになります。」

Red Hat の FSI エコシステムおよび戦略的パートナーシップ担当シニアディレクターの Kelly Switt 氏は次のように述べています。「銀行業界では、デジタル・ディスラプションの新しい波が押し寄せたことで、企業がより迅速な革新と顧客サポートの高度化に踏み切りつつあります。業界をリードする Kubernetes プラットフォームの Red Hat OpenShift は、金融機関に必要なアジリティ、スケーラビリティ、アプリケーション開発能力を提供するとともに、セキュリティとコンプライアンスの要件に適合するよう支援しつつ、革新的なソリューションを提供します。Infosys Finacle および IBM との協業により、

次世代金融サービスのイノベーションに向けて、お客様がオープン・ハイブリッド・クラウドのメリットを実現できるようご支援してまいります。」

IBM Cloud for Financial Services について

IBM Cloud for Financial Services は、コンプライアンス、セキュリティ、回復力の要件に対応する金融サービス機関を支援するために設計されています。IBM のパートナーエコシステムは、ワークロードの管理やベアメタルからマルチクラウドへのモダナイズ、業界をリードする Kubernetes プラットフォームの Red Hat OpenShift との連携により顧客を支援することで、ハイブリッドクラウド環境を推進しています。業界初の金融サービスに対応したクラウドである IBM Cloud for Financial Services は、IBM Cloud Hyper Protect Services が提供する IBM の第 4 世代コンフィデンシャル・コンピューティング能力と「Keep Your Own Key (自分の鍵の保持)」暗号化を利用して、パートナーとお客様が自社データの制御を保持し、金融機関とのトランザクションをセキュアな環境で行えるようにしています。IBM Cloud Framework for Financial Services は、デジタルサプライチェーン内のサードパーティーおよびフォースパーティー・リスクを軽減します。これは、共通の制御のセットおよびエコシステム全体で準拠されるプロセスを通じて行われます。この埋め込み制御は、お客様によるイノベーションの加速、新しい収益機会の獲得、法令遵守に伴うコストの減少を支援するために開発されたものです。

IBM Cloud for Financial Services に関する詳しい情報は、www.ibm.com/cloud/financial-services をご覧ください。IBM の将来の方向性および意図に関する記述は、予告なく変更または撤回される場合があります。これらは目標および目的を提示するためにのみ使用されています。

Red Hat、Red Hat ロゴ、OpenShift は、Red Hat, Inc. またはその米国およびその他の国の子会社の商標または登録商標です。

Infosys Finacle について

Finacle は、インフォシスが 100% 保有する製品子会社の EdgeVerve Systems が提供する、業界をリードするデジタルバンキング・ソリューションスイートです。Finacle は従来型および新興の金融機関における真のデジタル変革を推進し、フリクションレスな顧客体験、エコシステムの活動の拡大、インサイト駆動型のインタラクション、コビキタスオートメーションの実現にお役立ていただけます。現在、Finacle は 100 か国以上の銀行で導入され、10 億名を上回る顧客と 13 億件の口座へのサービス提供を支えています。

Finacle ソリューションは、金融機関が卓越したビジネスを推進するための、コアバンキング、オムニチャネル・バンキング、送金、資金管理、オリジネーション、流動性管理、イスラム金融、資産管理、アナリティクス、人工知能、およびブロックチェーンの各種要件に対応しています。世界の上位 1250 行の評価によれば、Finacle コアバンキングソリューションを活用中の金融機関では、そうでない機関に比べ、費用収益比率が平均して 7.2% ポイント低く抑えられています。

詳しい情報は、www.finacle.com をご覧ください。

セーフハーバー条項

本リリースに掲載されている報告書の一部は、1995年私募証券訴訟改革法の「セーフハーバー」条項の適用を意図した当社の将来的な成長と今後の配当、財務的期待、当社の従業員、顧客およびステークホルダーへのCOVID-19の影響を管理するための計画を予測するものであり、そこには多くのリスクや不確定要素が介在しているため、実績と大きく異なる場合があります。このようなリスクおよび不確定要素としては、COVID-19に関連するリスクと不安定要素、その拡散を抑制するための政府およびその他の対策の効果、インド、米国、世界のその他の国々の景気低迷や不況に関連するリスク、政治、ビジネスおよび経済環境の変化、収益や外国為替相場の変動、当社の成長管理能力、費用効率に影響する可能性のあるITサービス分野における競争の激化、インドにおける人件費の高騰、高い技能をもつ専門的な人材を確保する当社の能力、固定価格・固定時間による契約における時間や経費の超過、顧客の集中化、出入国制限、業界セグメントの集中化、国際業務を管理する当社の能力、当社の主力分野であるテクノロジーの需要低下、通信ネットワークの崩壊あるいはシステムの故障、企業買収を成功させる当社の能力、当社サービス契約に対する損害賠償責任、戦略投資した企業の業績、政府援助の打ち切り、政治不安および地域紛争、インド国外での増資・企業買収に対する法的制限、当社知的所有権の不正使用、この業界に影響を与える経済情勢などが考えられます。将来の営業業績に影響すると考えられるその他リスクについては、2020年会計年度年次報告書（Form 20-F）を含め、米国証券取引委員会へ提出された当社報告書に詳細に記載されています。これらの報告書は、www.sec.govでご覧いただけます。当社は、米国証券取引委員会および株主への報告書内の情報を含め、書面または口頭で将来の展望を随時発表する場合がありますが、法律により義務付けられている場合を除き、随時発表する将来の展望について更新する義務を負わないものとします。

お問い合わせ先:

マーケティング本部 安藤

Mail: mktg_jp@infosys.com